

1 学校教育目標

人間を尊重し、情操豊かで規律と責任を重んじ、生涯を通じて自ら学び、たくましく生きぬいていく国際的視野に立つ国民を育成する。

- (1) 健康な人
- (2) 誠実な人
- (3) 創造する人

2 学校経営目標

- (1) 自ら考え、自ら判断し、行動できる生徒を育てる学校をつくる。
- (2) 安全で安心な学習環境を確保し、保護者、地域から信頼される学校をつくる。
- (3) 教職員が、やりがいを感じ、この職場でよかったと思える学校をつくる。

3 めざす生徒像

- (1) 自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる生徒（自律）
- (2) 他者と協働し、異なる意見を受け止め、他者を尊重できる生徒（尊重）
- (3) これからの社会を力強く生き抜く、創造力が豊かな生徒（創造）

4 めざす学校像

- (1) 生徒の主體的の取組を支援し、自信と誇りをもたせる学校
- (2) 地域と連携した取組を推進し、地域に根差した学校
- (3) 教師自らが、この学校で働きたいと思える学校

5 めざす教師像

- (1) 使命感をもち、研修に励み、学び続ける教師
- (2) 心身ともに健康で明るく、前向きな教師
- (3) 組織人として協働でき、生徒・保護者・地域から信頼される教師

6 めざす授業像

- (1) 自ら学ぼうとする意欲を引き出し、個性を伸ばす授業（自律）
- (2) ペアやグループ活動を積極的に取り入れ、生徒が相互に学び合う授業（尊重）
- (3) 答えが一つではない課題を提示するなど、多様な考えを引き出す授業（創造）

7 めざす生徒像を具現化するための取組

3- (1) 自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる生徒（自律）

- ① 生徒の主体性を育てるために、運動会、赤土祭、移動教室、修学旅行などにおいて、一人一人に主体的な役割を与え、達成感を味わわせる。
- ② 気持ちの良い挨拶、時間を守る、マナーを考えるなどについて、基本的な生活習慣や集団生活での規律を身に付けさせ、規範意識を向上させる。
- ③ 自ら学ぶ態度を育てるために、各種検定試験を奨励し、学習意欲を高める。
- ④ 自らの課題を明確にさせ、その課題を解決させるために必要な学習に取り組ませる。
- ⑤ 自ら学習環境を整え、日々の清掃活動を徹底して行う。

3- (2) 他者と協働し、異なる意見を受け止め、尊重できる生徒（尊重）

- ① 生徒が自他の特性を認め、互いに成長するために、委員会活動や係活動、部活動などの活動において、自治活動ができるよう積極的な指導を行う。
- ② 特別の教科 道徳では、自己肯定感や自己有用感を育てるために、話し合い活動やロールプレイ等と取り入れた指導を行う。
- ③ 教育活動全体を通して、常に相手の立場に立った考えで行動する力を身に付けさせる。
- ④ 互いの人格や個性を尊重し合える共生社会の実現に向け、障害をもつ人とのコミュニケーション力を育む。令和5年度から実施している手話教育を継続、推進する。
- ⑤ いじめについては、「本校のいじめ防止等の基本方針」に基づき、未然防止・早期発見・迅速な対応を行う。
- ⑥ 不登校生徒への支援については、家庭との連絡を密に行い、SC、教育相談室、つくし教室等を活用しながら対応する。さらに、多様な教育機会の確保の観点から、居場所づくりを推進する。
- ⑦ 特別支援教育については、特別支援教育コーディネーターを中心に生徒理解を深めて、組織的な対応を行う。

3- (3) これからの社会を力強く生き抜く、創造性が豊かな生徒（創造）

- ① 各教科では、知識理解とともに、答えが一つではない課題（テーマなど）を取り上げ、創造力を育む取組を推進する。
- ② 弁論大会では、自らの興味関心に基づく課題を設定し、体験や調査、研究し、まとめ、発表する活動を通して、思考力、判断力、表現力等を育てる。
- ③ 3年間を見通した計画的なキャリア教育、進路指導を行う。
 - 1 学年：職業調べ、働く人の話を聞く会（ゲストティーチャー）
 - 2 学年：職場体験学習、上級学校調べ、上級学校訪問、高校授業体験、志を育てる学習
 - 3 学年：上級学校見学・体験授業参加
- ④ 生徒一人一人のタブレット端末を活用し、個別最適な学びや協働的な学びを推進する。

8 重点指導目標

- (1) 人権教育、道徳教育の充実
- (2) 健康、安全教育の推進
- (3) 創造力を育成する教育の推進
- (4) 特別支援教育の推進
- (5) 生徒主体の活動の推進
- (6) 連携教育の推進

9 本校職員としての支援方針（確認事項）

- (1) 人権意識をもち、認めて、ほめて、励ます指導。
- (2) 教育公務員としての自覚をもち、生徒・保護者・地域から信頼される指導。
- (3) 自発的な挨拶、時と場に応じた挨拶など、人間関係を豊かにする指導。
- (4) 生徒自身が「分かった・できた」という意識がもてる指導。
- (5) トラブルを生徒自身の学びに変える指導。
- (6) 生徒会組織や実行委員会等を活用し、生徒による学校づくりの指導。
- (7) PTA や地域協働学校運営委員会など、地域連携の充実を図る指導。
- (8) 10年後、20年後の社会を見据え、学校の役割を意識した指導。